

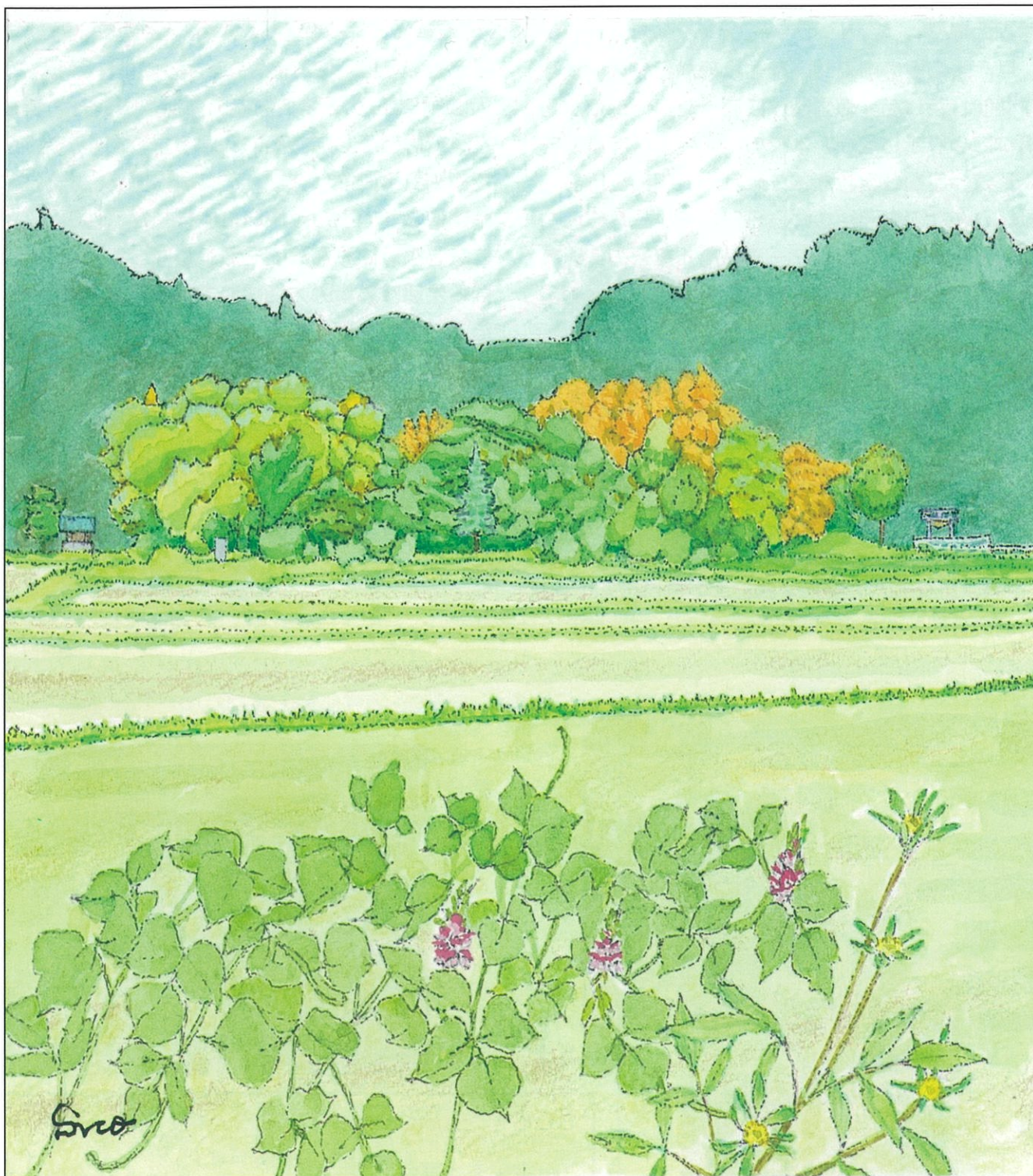
環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山(全国 500カ所)」に「八千代市ほたるの里」が選ばれました！

# ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第63号 2020年11月



## 新川から見るほたるの里（秋）



※この里だよりは 令和2年度 ちば環境再生基金助成金（県民の活動）を頂き作成しました。

## 親子で学ぶ SDGs・ESD

日時：2020年 8月 1日(土) 9:00~11:00

場所：八千代市ほたるの里

目的：SDGs（持続可能開発の目標）とESD（持続可能な社会の教育）について、親子で身近なこととして知る。（出来ることから始めるきっかけをつくる・保全の大切さを学び未来を創造する等）

参加者：小学3年生以上の親子:3組7人 実行委員会:7人

プログラム：①ESD・SDGsのお話し ②ワーク：未来に向かって始めてみよう

### 活動の様子

ほたるの里の中で間隔をとりながら少ない人数で開催しました。梅雨明けになった日、曇りから晴れになりましたが、木々の中、爽やかな環境で17枚の目標と表題が木々に麻紐で円形に飾られ、みんなの自己紹介からSDGs・ESDのお話を聞きました。紙とマーカーで「最近の気になること」を書き洗濯ばさみを使って自分でどの目標に当たるか考え付けていきます。

子どもからは、「コロナで夏休みが少ない」大人は、「コロナで学校が無いので、母親も大変」など。ではどうしたら良いと思う？ の問いにみんな考えて下に貼ります。たくさん考え、あれもこれも関連していることに気付きました。住みよい地球になるようにみんなでもう少しずつ頑張る考えながら生活する事の大切さを学びました。最後に「ほたるの里」の探検をし、虫取りや小川でカワニナ、タニシ、ザリガニ、アメンボなどを取り、ザリガニ以外は居た場所に戻してあげました

### 成果

- お話を聞くことで自分ごととして考え、意見を出し合い、書き出すことで真剣に考え、未来に進もうとしている姿がありました。また、みんなで、協力する態度もみえました。
- このプログラムに参加することでSDGs・ESDの取り組みを身近に感じてもらえ、子どもも、

大人も実行委員も知ることから始め、行動をおこすことの意識づけができました。

- 「ほたるの里」の目的を知り、自由に探検することで里の生物を知り貴重な体験となりました。

(文責：武田)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs : Sustainable Development Goals

(持続可能な開発目標)

ESD : Education for Sustainable Development

持続可能な社会の実現に向けて行動を変革するための教育

## 新型コロナウイルスと自然と私たち

森 繁 (ホタルメイト)

斜面林の枝を長い竿でたたいていく人がいて、カブトムシやクワガタがぼたぼた落ちてきます。カブトムシやクワガタを竿で叩き落とすこと等は論外ですが、新型コロナウイルスに振り回されている人間どもとは違って、野山の生き物たちは元気に暮らしているようです。

長梅雨のせいか、畑の作物も木々の茂りも軟弱でしたが、梅雨明け後の猛暑で盛り返しました。今年はアキノタムラソウなどの秋の花が早めに咲き出したようです。

私どもも新型コロナウイルスの制限で遠出はかないませんが、ホタルの里など市内での行動を始めました。ニイニイゼミやアブラゼミの羽化、自生のヘイケボタルに感激し、元気なシロスジカ

ミキリムシに触りたくなり、ウシガエルの声におびえ、星をちりばめたようなカラスウリの花にうっとりです。

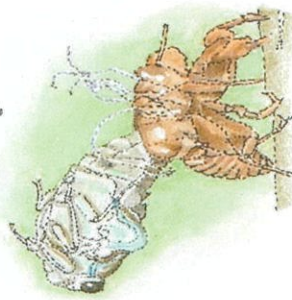
里の林間での「親子で学ぶ (SDGs。ESD) 教室も子どもさん方のキラキラしたまなざしに勇気づけられ、アカガエルやザリガニ、ジャコウアゲハやチョウトンボが遊んでくれました。

それにステイホームも悪くはありません。カラスの子育ての様子など、じっくり観察することができました。

新型コロナウイルスに打ちのめされている私たちですが、ホタルメイトとして自然に関わるものにとっては、いい夏になったようです。



(アキノタムラソウ)



(アブラゼミの羽化)



(チョウトンボ)

## ヒメコマツ系統保存サポーター (里での生育調査報告)

2016年、千葉県生物多様性センターからの「ヒメコマツ系統保存サポーター」の呼びかけに、ほたるの里も参加し、生育調査を毎年10月1日に実施してきました。

系統	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
小袋沢接ぎ木	41cm	56cm	73cm	87cm	108cm
小袋沢接ぎ木	50cm	67cm	75cm	88cm	99cm

房総丘陵のヒメコマツ(別名ゴヨウマツ 五葉松)は、氷河期の遺存種と考えられており、生態学的にも貴重な個体群です。かつては数千本単位で生育していましたが、さまざまな要因で75本にまで減少してしまいました。千葉県では本種を「最重要保護生物」に選定し、平成21年度に「ヒメコマツ回復計画」を策定して保護・回復事業を行っています。

(千葉県生物多様性センターより)



### ほたるの里7月の様子・・7月11日(土)



### ほたるの里8月の様子・・8月8日(土)



### ほたるの里9月の様子・・9月12日(土)



## ・ ・ ホタルメイト募集中 ・ ・

- 年会費（4月～翌年3月）※登録期間は1年間。  
個人 1世帯1,000円市民団体・事業所 1口 2,000円  
詳しくは、事務局までお問い合わせください。

〔 ほたるの里 連絡先 〕

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5 八千代市環境政策室 内

Tel : 047-483-1151 (内線 2216)

E-mail : kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

HP : <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html>

〔 編集 〕 広報部会・事務局

